



2021年度決算について

① 2021年度事業報告

長期ビジョン（HOSEI2030）のもと2017年度に策定した、第一期中期経営計画（2018～2021年度）の計画期間が2021年度末をもって終了しました。

第一期中期経営計画では、「教学改革（キャンパス再構築の推進）」、「教育・研究環境整備」、「財政健全化」を三つの柱とし、事業や取り組みの優先度・規模・経費・実施時期を見直し、一貫性と合理性ある法人運営の実現を目指しました。2021年度は、その最終評価を実施した上で、第二期中期経営計画（2022～2025年度）を策定しています。2021年度に行った主な事業は、

① オンライン化システム構築事業
HOSEIミュージアムの設置・運営事業などの重点施策事業、②（文部科学省）スーパーグローバル大学（SGU）創成支援事業、③ 各校地の空調・防犯設備更新工事などの建設・修繕事業、④ 教育学術情報ネットワーク（net2017）、情報基盤システム、情報教育システム（edu）といったICT事業などです。また、2020年度に引き続き、コロナ禍への対応としてオンライン事業の増加に対応するためのオンデマンドコンテンツの作成支援などの実施に加え、大学改革推進等補助金に採択された、学習成果の可視化を図るDX事業（HOSEI-Hi-BOX事業）などを新たに実施しています。

② 貸借対照表（表①）

上記の他、長期ビジョン（HOSEI2030）で実現すべきビジョンとして掲げている「ダイバーシティ化推進」について、推進体制のさらなる強化を図るため、2021年度に新たに「男女共同参画推進特設部会」を設置し、策定した行動計画における各種施策の具体化についての検討、各種施策を実行しています。

なったことなどにより、前年比55億円の増となりました。

2021年度の事業活動収入は511億円となりました。一方、事業活動支出は456億円となりました。事業活動収入から事業活動支出を引いた基本金組入前当年度収支差額は55億円の収入超過となりました。また、基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を控除した当年度収支差額は53億円の収入超過となり、翌年度繰越収支差額は382億円の支出超過となりました。

（注）表の金額は百万円未満を四捨五入しています。そのため、合計が計算上一致しない場合があります。

表① 貸借対照表

（単位：百万円）

資産の部			
科 目	2021年度末	2020年度末	増減
固定資産	207,590	205,703	1,887
有形固定資産	133,529	136,628	△ 3,100
特定資産	46,545	44,844	1,701
その他の固定資産	27,516	24,230	3,286
流動資産	31,118	27,299	3,819
資産の部合計	238,708	233,002	5,706
負債の部・純資産の部			
科 目	2021年度末	2020年度末	増減
固定負債	17,838	18,904	△ 1,066
長期借入金	4,150	4,527	△ 377
長期未払金	744	1,181	△ 437
退職給与引当金	12,945	13,196	△ 251
流動負債	13,132	11,842	1,289
短期借入金	377	377	0
未払金・前受金・預り金	12,754	11,465	1,289
負債の部合計	30,970	30,746	224
基本金	245,963	245,787	176
繰越収支差額	△ 38,225	△ 43,531	5,306
純資産の部合計	207,738	202,256	5,482
負債及び純資産の部合計	238,708	233,002	5,706

減価償却累計額	98,484	96,065	2,419
基本金未組入額	5,441	6,368	△ 927

表② 事業活動収支計算書

（単位：百万円）

科 目		2021年度決算	※2022年度予算
教育活動収入の部	学生生徒等納付金	39,237	39,136
	手数料	3,547	3,046
	寄付金	505	376
	経常費等補助金	5,543	5,279
	付随事業収入	495	320
	雑収入	1,108	779
	教育活動収入計	50,433	48,936
教育活動支出の部	人件費	26,421	25,638
	教育研究経費	16,836	18,365
	管理経費	2,201	2,364
	徴収不能額等	0	0
	教育活動支出計	45,458	46,367
	教育活動収支差額	4,975	2,569
	受取利息・配当金	501	487
教育活動外収入の部	その他の教育活動外収入	38	53
	教育活動外収入計	539	540
	借入金等利息	27	23
	その他の教育活動外支出	0	0
	教育活動外支出計	27	23
教育活動外収支差額		512	517
特別収入の部	経常収支差額	5,487	3,086
	資産売却差額	0	0
	その他の特別収入	120	60
	特別収入計	120	60
	資産処分差額	113	30
	その他の特別支出	12	0
	特別支出計	125	30
特別収支差額		△ 5	30
〔予備費〕			500
基本金組入前当年度収支差額		5,482	2,616
基本金組入額合計		△ 176	△ 1,301
当年度収支差額		5,306	1,314
前年度繰越収支差額		△ 43,531	△ 40,226
基本金取崩額		0	0
翌年度繰越収支差額		△ 38,225	△ 38,912
（参考）			
事業活動収入計		51,093	49,536
事業活動支出計		45,611	46,921
事業活動収支差額比率		10.7%	5.3%

2022年度予算について

2022年度予算編成の基本方針

1

事業活動収支計算において、基本金組入前当年度収支差額の目標値（最低水準）を18.9億円（±2億円）とし、全ての経費について、新型コロナウイルス感染症の影響を想定した上で、費用対効果・予算執行実績を重視した見直しを徹底する。

2

第二期中期経営計画を着実に実行するため、計画の策定状況を踏まえつつ、予算措置を図る。

3

減価償却引当特定資産への積み増し（40億円）を行う。

① 予算編成方針

本学の中長期的な収支見直しは、収入面においては、文部科学省による定員管理の厳格化政策の下、学校法人の主たる収入である学生生徒等納付金の大幅な増額を見込むことは困難です。この状況は今後も続くことが見込まれるため、入学定員を確実に確保していくことは重要と考えています。2021年度学部一般入試は、前年度の同入試の実績に比べ志願者数が減少する結果となりましたが、コロナ禍の影響は大きな要因の一つであったと考えられます。2022年度入試では志願者増と

りましたが、引き続き志願者数動向には注視が必要であり、2023年度入試においても、特に学部一般入試の志願者数想定は保守的にならざるを得ない状況にあります。

一方、支出面においては、施設・設備の維持・管理・更新などの教育・研究環境整備に要する経費の他、2022年度においても、コロナ禍への対応として、引き続き施設・設備環境の整備やオンライン授業実施環境の拡充、SA（スタディ・アブロード）などの留学の中止に伴う代替措置の実施、学生への経済的支援などが想定され、今後も一定の支出規模が続くことが見込まれます。

長期ビジョン（HOSEI2030）では、中長期財政指標として、事業活動収支差額比率10%の確保を掲げていますが、2022年度予算は、前述のとおり厳しい収支状況が見込まれていることから、基本金繰入前当年度収支差額の目標値を18.9億円（事業活動収支差額比率3.8%相当）を最低水準としました。あわせて、全ての事業において、費用対効果や客観的指標などの根拠を重視するとともに、直近の予算執行実績を例年以上に精査し、事業の縮小などを含めた見直しを徹底することとし、左記の基本方針を掲げ、予算編成を行いました。

学校法人の予算とは

budget

学校法人を運営するための財源は、その大半が学生・生徒（保護者）からの学費、受験料、寄付金および国・地方公共団体からの補助金などの資金によって賄われています。これらの収入を見積もり、いかに効率的・効果的に教育研究活動や施設・設備の改善・充実を図っていくかの計画を立てるのが学校法人の予算です。学校法人の収入源

は限られています。また、支出も教職員の人件費や校舎の維持費用など、その多くが固定的です。その中で、教育研究条件の向上に努め、質の高い教育研究を永続的に展開していくためには、中長期的な財政計画の下、各年度に具体的方針を定め、教学上の諸要求と財政の調和を図りながら、収支の均衡のとれた予算を編成する必要があります。

2022年度予算の主な事業

予算編成方針に基づき、2022年度予算に計上した主な事業は次の通りです。

2022年度予算に計上した主な事業

【重点施策事業】

データサイエンスセンター事業、HOSEI H-10X事業、オンライン化システム構築、HOSEIミュージアムの運営、研究力強化事業、若手研究者公募研究プロジェクト支援事業、男女共同参画推進アクション・プランなど

【特別事業】

- 1 スーパーグローバル大学創成支援事業
(文部科学省) スーパーグローバル大学 (SGU) 創成支援事業
- 2 建設・修繕事業
(市ヶ谷) 外濠校舎薩埵ホール特定天井改修工事、(多摩) 中央監視装置更新工事、(多摩) 14号館ブル特定天井改修工事、照明更新工事など
- 3 施設の維持・管理事業
総合管理委託事業 (警備・清掃)

など

4 奨学金事業

高等教育の修学支援新制度による授業料等減免事業、「開かれた法政21」奨学・奨励金、新・法政大学100周年記念奨学金、SA等奨学金、交換留学生受入れプログラム実施事業など

5 ICT事業

市ヶ谷・多摩・小金井情報教育システム(edu)の運用、教育学術情報ネットワーク(net2017)の運用、情報基盤システムの運用など

6 補助金事業

経常費補助金(特別補助)による大型設備等運営支援事業など

7 広報事業

学生募集に係る入試広報事業など

8 後援会事業

後援会からの寄付金収入を伴う事業

9 その他

上記以外の年次計画に基づく各種事業
(新型コロナウイルス感染症拡大による過年度の留学等中止への対応など)

3 事業活動収支予算の概要

大学の2022年度事業活動収支

予算における事業活動収入、事業活動支出、基本金組入額の構成は図のとおりです。

事業活動収入とは、学生生徒等納付金、手数料、寄付金、補助金など当該年度に帰属する収入のこと、前受金、預り金、借入金など負債となる収入は含みません。

事業活動支出とは、当該年度の教育研究活動のための人件費、教育研究経費・管理経費(減価償却額を含む)などの支出のこと、土地・建物・設備・備品など資産として計上する支出は含みません。

また、基本金組入額とは、主に当該年度の土地・建物・設備・備品などの固定資産取得相当額および奨学金への組入相当額です。

学校法人は、事業活動収入から基本金組入額を控除した収入額と事業活動支出額について、中長期的に均衡している状態が望ましいとされています。

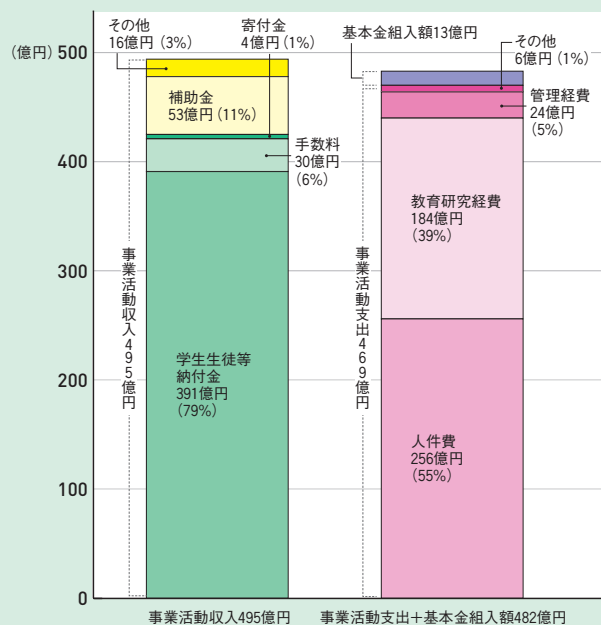
2022年度予算の事業活動収入は、495億円となりました。基本金組入額は、(多摩) 中央監視装置更新工事相当額などの組入を見込み13億円となりました。

事業活動支出は469億円となりました。内訳としては、人件費は256億円、経費関係は、教育研究経費184億円、管理経費24億円となりました。

これにより、基本金組入前当年度収支差額は26億円の収入超過となり、ここから基本金組入額を控除した当年度収支差額は13億円の収入超過となりました。翌年度繰越収支差額は389億円の支出超過となる見込みです。

事業活動収入を構成比率で見ると、学生生徒等納付金が最も多く、79%を占めています。また、国や地方公共団体からの補助金が11%、入学検定料などの手数料が6%、寄付金が1%となっています。事業活動支出の構成比率では、人件費が最も多く55%で、教育研究経費が39%、管理経費が5%となっています。

図 2022年度事業活動収支予算の構成



(注) 図の金額は億円未満を四捨五入しています。そのため、合計など数値が計算上一致しない場合があります。

4 今後の大学の財政の在り方について

大学を取り巻く経営環境は、前述のとおり、厳しい状況が続く見込みです。重点的・強化事業への予算配分による事業実施と並行して、経費削減および収入源の確保に係る計画的な取り組みも進めていく必要があります。

2021年度は、「第一期中期経営計画(2018年度〜2021年度)」の最終評価を実施した上で、「第二期中期経営計画(2022年度〜2025年度)」の策定に取り組みました。当面のコロナ禍への対応策を柔軟に講じつつ、第二期中期経営計画で掲げた各課題について、具体的な施策を着実に実施していくためには、強固な財政基盤を構築し、維持していくことが求められます。外部資金の獲得など、収入源の拡充を進めるとともに、目標達成指標などを用いた事業の進捗管理、事業実施後の評価を強化し、予算監理の実効性を高め、第二期中期経営計画への取り組みを着実に進めていきます。

◆本学では予算・決算の内容を大学ウェブサイトで公開しています。詳しい内容は、下記URLまでアクセスしてください。

<https://www.hosei.ac.jp/hosei/disclosure/hokoku/>



読み終えた本、活用しませんか?

お申し込みを
お待ちしております!

8/1(月)~31(水)
買取金額10%アップ
キャンペーン

BOOKS
FOR
FUTURE

法政大学エコ本
「エコロジー×募金」プロジェクト

地球と、学生の未来のために。

皆さまの不要になった書籍をお送りください。
エコ社会の実現と、学生の経済支援につながります。

「法政大学エコ本」とはご提供いただいた書籍類を提携会社が買い取り、その買取金額が本学に寄付され、「法政大学家計急変学生支援奨学金」に役立てられるプロジェクトです。

買い取った書籍類はリユースされ、エコ社会(持続可能な社会)の実現への手助けとなります。

ご自宅で段ボール箱に書籍を詰めて、ウェブサイトから簡単にお申し込みいただけます。

書籍はご指定いただいた希望日時に宅配業者が集荷に伺います。

5点以上ご提供いただいた場合は、送料が無料になります。

※「ISBN」のない本、百科事典、個人出版の本、漫画雑誌(コンビニコミック含む)、一般雑誌は取り扱いできませんのでご注意ください。
※お受けできる箱数は、1回の申し込みで3箱までとなります。

お申し込みはウェブサイトから

法政大学 エコ本

法政 エコ本

検索



<https://www.charibon.jp/partner/hosei-u/>

「法政大学エコ本」プロジェクトの詳しい説明をご覧ください。

お問い合わせ先

法政大学 卒業生・後援会連携室 募金課

Tel: 03-3264-9807

(受付時間 平日9時~17時)

E-mail: bokin@hosei.ac.jp

2021年度卒業生の進路状況について

2021年度の進路状況と主要企業・団体への就職者推移のデータを示します。
長引くコロナ禍の中、引き続き学生に寄り添う支援に取り組んでいきます。

就職環境

2021年度（2022年3月）卒業生の求人倍率は1.50倍で、新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）の影響で採用人数を減少させたり、採用自体がなくなったりする企業があるなど、一部の業界を希望する学生にとっては厳しい状況でした。しかし、コロナ禍においても業績好調な業界もあり、影響は限定的です。現在、就職活動中の2023年3月卒業予定者対象の求人倍率は1.58倍と回復傾向にあると言えます。

感染防止のため、説明会や選考がオンライン中心となったことで、学生からは企業の雰囲気などを体感することが難しく、企業研究を深めにくいという声がありました。キャリア

本学の就職状況

このような就職環境の中で、本学学生の就職希望者決定率（就職希望者に占める就職決定者の割合）は97%となり、学生たちの健闘がうかがえます。

就職者数の多い企業・団体は次のとおりです。①東京都特別区52人、②ドコモグループ34人、③楽天グループ24人、④日本電気（NEC）24人、⑤NECソリューションイノベータ22人、⑥大和ハウス工業21人。

公務員

国家公務員就職者数は65人、地方

公務員においては266人の就職者がありました。

本学では「公務人材育成センター」をキャリアアセンター内に併設し、公務員講座や難関試験を目指す学生に対して学生の希望に沿った、きめ細かい支援を行っています。

キャリアアセンターの取り組み

現3年生の学生にとっては、初めての就職活動に不安や戸惑いを感じていることと思います。キャリアアセンターでは、求人倍率などの現状や最新の企業動向、コロナ禍で変化した選考方法を伝えています。同時に、学生が変化に感わされることなく、しっかりと自分自身と将来を考えて、就職活動に臨むことができるように支援を続けています。

また、全ての現4年生の学生を対

象に、進路状況調査を実施し、夏以降も就職活動を継続している学生を対象に、より手厚い支援を行います。

8月、9月と続けて本学学生限定のウェブ合同企業説明会を実施する他、本学学生に対する採用意欲の高い企業の紹介など、学生の希望や状況に寄り添った支援を提供していきます。

提供可能なサービスは時期・状況により日々変わりますので、就職活動に迷いや悩みのある方はキャリアアセンターをご利用ください。

キャリアアセンターの情報発信は主に大学公式ウェブサイト、LINE公式アカウント（在学生のみ登録可）にて行っていますので、そちらもあわせてご覧ください。

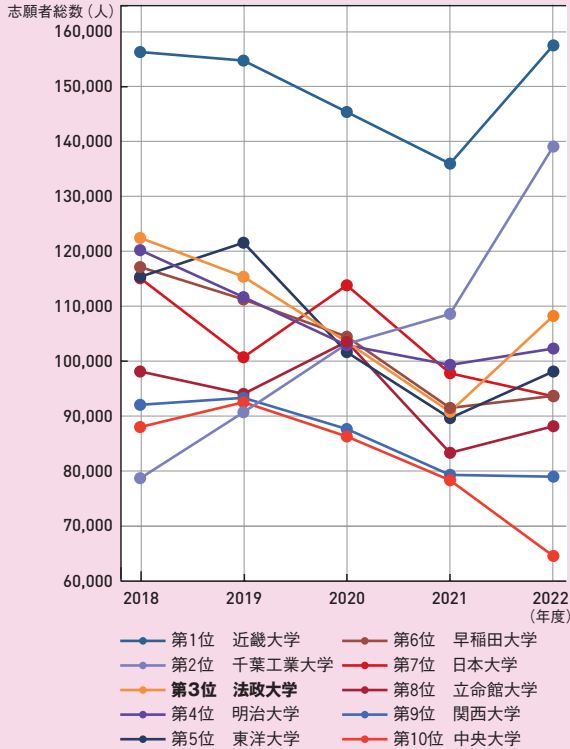
表 主要企業・団体への就職者推移（2019～2021年度）

企業名	2021	2020	2019
清水建設	4	11	12
大成建設	6	5	11
大林組	2	8	3
積水ハウス	9	3	12
ミサワホーム	3	1	4
大和ハウス工業	21	15	25
サッポロビール	1	2	3
サントリーグループ	3	0	3
山崎製パン	20	22	10
ロッテ	1	2	2
エーザイ	1	5	3
大正製薬	3	0	1
資生堂	0	0	2
日本電気（NEC）	24	18	28
パナソニック	7	4	12
富士通	15	18	18
三菱電機	7	7	15
日立製作所	9	3	6
トヨタ自動車	2	2	6
SUBARU	7	3	6
本田技研工業	5	15	13
キヤノン	4	9	11
大日本印刷	4	6	13
凸版印刷	7	7	19
パンダイ	5	2	3
住友商事	1	0	0
三井物産	1	0	1
丸紅	1	1	3
豊田通商	1	1	0
高島屋	0	0	3
セブン・イレブン・ジャパン	2	5	7
みずほフィナンシャルグループ	2	22	19
三井住友銀行	11	14	11
三菱UFJ銀行	3	7	5
りそなホールディングス	21	26	34
横浜銀行	14	16	15
千葉銀行	10	12	15
大和証券	6	9	11
野村證券	6	4	12
第一生命保険	9	12	19
日本生命保険	13	7	11
損害保険ジャパン	5	2	4
三井住友海上火災保険	4	7	13
JR東海	9	11	11
JR東日本	9	15	30
京浜急行電鉄	1	4	1
日本通運	11	7	10
全日本空輸（ANA）	1	2	23
日本航空（JAL）	6	5	25
NTT東日本	10	12	18
NTTデータ	11	12	9
KDDI	10	9	6
ソフトバンク	18	12	16
読売新聞社	4	2	3
NHK	2	9	13
TBS	2	2	1
集英社	1	2	0
ADKホールディングス	3	5	2
電通	0	2	2
博報堂	2	1	1
オリエンタルランド	0	4	7
JTBグループ	0	11	21
日本郵政グループ	18	13	34
国家公務員	65	85	90
地方公務員	266	305	326

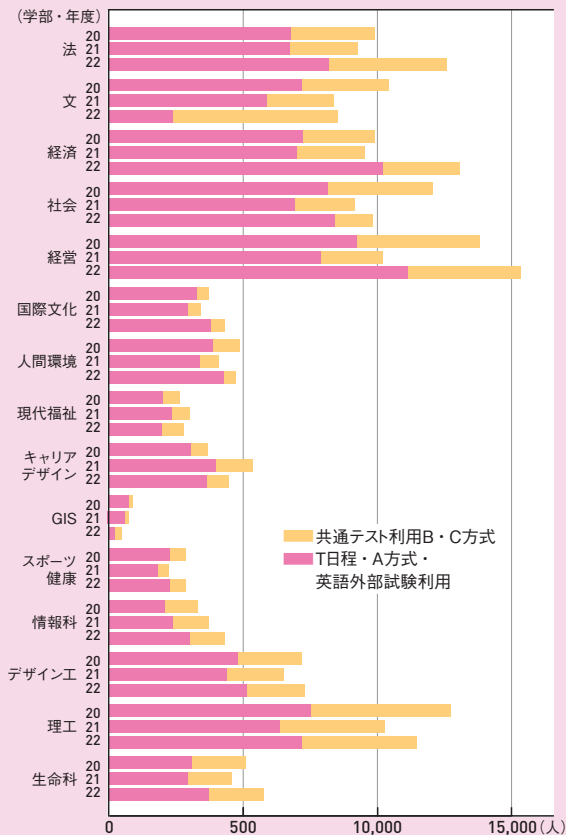
2022年度一般選抜結果について

2022年度一般選抜では、大学別志願者数ランキング全国第3位、実志願者数^{*}では全国第1位となりました。
全学の状況と学部別のデータを示します。

図① 私大志願者数データ推移（過去5年間、上位10校）



図② 2020～2022年度 学部別志願者数推移



航空操縦学専修の志願者数は、理工学部のT日程・A方式・英語外部試験利用に含む。

本学の2022年度一般選抜志願者数は10万8343人で、前年度から1万7387人増加し、2年ぶりに10万人を超えました（前年度比119.1%）。志願者数が前年度を上回ったのは、過去最多の12万人台を記録した2018年度一般選抜以来4年ぶりとなります（図①）。大学別志願者数ランキングでも前年度から三つ順位が上がって全国第3位となり、さらに学内併願を除いた実志願者数は7266人増の5万2756人で、2年ぶりに全国第1位となりました。

入試方式別で見ても、全ての方式で前年度から志願者が増加しており、中でも社会学部と国際文化学部が新たに加わった英語外部試験利用入試は1867人増の5653人（前年度比149.3%）で、6年前の導入初年度と比較すると約13倍の志願者数となっています。このほか、最も募集人数の多いA方式入試（個別日程）が9506人増（前年度比120.5%）、T日程入試（統一日程）が2408人増（同115.5%）、大学入学共通テスト利用入試B方式（3教科型）が2274人増（同111.8%）、同C方式（5教科6科目型）が1326人増（同123.0%）でした（他に航空操縦学専修一般入試が6人増）。

学部別では15学部中12学部で志願者が増えており、法学部、経済学部、経営学部など、特に社会科学系の学部で志願者数が大きく回復しています（図②）。情報科学部だけは2年連続で志願者が増えており、2021年度一般選抜では、経営

年度一般選抜からA方式の日程を変更して学部内併願ができるようになったことに加えて、近年の情報系学部の人気も反映された結果と言えます。一方、志願者が減った3学部のうち、現代福祉学部とキャリアデザイン学部は前年度増加の反動によるものと考えられます。4年連続の減少となったGIS（グローバル教養学部）に関しては、2021年度一般選抜からT日程の募集を停止し、さらに2022年度一般選抜から全ての方式で英語外部試験スコアを出願資格とするなど、ある程度志願者が減ることを見越した上で、学部として求める学生をより明確化している結果と言えます。

法政大学入試情報サイト

<https://nyushi.hosei.ac.jp>



リカレント教育とは、いわゆる「社会人の学び直し」です。「人生100年時代」を迎え、超スマート社会（Society5.0）へと変わりゆく中で、学校を卒業した後も仕事に必要な知識や技能を修得することの重要性が高まり、リカレント教育の推進が求められています。

法政大学の リカレント教育・生涯学習

Recurrent
education

もう一度、法政で
学んでみませんか？

修了生からの声



江頭 大さん
Egashira Dai

株式会社日本アメニティライフ協会取締役事業本部長。2014年3月専門職大学院イノベーション・マネジメント研究科イノベーション・マネジメント専攻修了。2020年度同専攻科目等履修生。

本学の現代福祉学部在籍している間に法人を立ち上げ、卒業後は企業の経営に携わってきました。ただ、経営については独学だったので、しっかりとした知識を体系的に学び直したいと思い、専門職大学院で学ぶことを決めました。

学び直しの中で、得た知識をどのように実務に生かせるか、考えたり実践したりする中で、経営の思考回路が形成されました。現在の私の根幹をなしている思考回路だけに、仲間や部下へと継承していくつもりです。

仲間に出会えたことも大きな財産です。同級生だけでなく先輩や後輩、先生方には、会うたび刺激を受けています。

「時間は全ての人に平等にある」——これは、指導教授から教えていただき、今も強く意識している言葉です。学ぶ前には仕事との両立など、さまざまな不安を感じていますが、学びたい気持ちがあるのなら行動を起こしてみようというのではないのでしょうか。



丸山 秀一さん
Maruyama Shuichi

環境経営コンサルティングに従事。2019年大学院公共政策研究科 SDGs Plus 履修証明プログラム入学。2020年大学院公共政策研究科サステナビリティ学専攻修士課程入学。2022年同修士課程およびSDGs Plus 履修証明プログラム修了。

環境コンサルタントとして知識や経験を積んできましたが、より広い領域に拡大するために「サステナビリティについて体系的に学びたい」「背景や根本となる思想、歴史なども学び深めを持たせたい」と考え、SDGs Plus 履修証明プログラムに応募しました。

学び直しは、家づくりに例えるなら「土台の補強」です。学生時代に自分の軸となる基礎を固め、社会に出てからは実務経験で増改築を重ねてきましたが、より揺るぎのないものにするためには、基礎の補強が必要だと考えたのです。

SDGs Plus 履修証明プログラムで修得した単位は、大学院に進学した後、単位認定されたので、余裕を持って修士課程に取り組むことができました。

これからは、実務者の視点（実践的な課題解決）、研究者の視点（本質的な課題解決）との両面から課題解決を図り、コンサルティング業務に生かしたいと思います。



法政大学
リカレント教育 オフィス長
高田 朝子
Takada Asako

本学では、大学通信教育課程として日本で最初に開設された通信教育部や、平日夜間と土曜の昼間に授業を行う夜間大学院など、働きながら学ぶことができるプログラムや制度を設けることで、学び直しを望む方へのリカレント教育・生涯学習の機会を提供してきました。

近年のリカレント教育の必要性和ニーズの高まりを受けて、2021年4月に「リカレント教育オフィス」を新設し、従来の通信教育部は「リカレント・通信教育センター」として再編。リカレント教育のさらなる推進や、より効果的な学びの提供を図っています。

例えば、「履修証明プログラム」は、社会人など学生以外を対象とした学習プログラムで、修了者には履修証明書（サティフィケート）を交付しています。現在は①健康とスポーツ、②SDGs

Plus 履修証明プログラム、③ヘルスケア・マネジメント講座の3講座が開設され、これまでに3講座合わせて約70人が履修しています。各講座の内容は次の通りです。

①生活習慣病の予防や適度な運動、スポーツの実施について理解し、生涯健康を目指すプログラム。3月募集4月開講。

②SDGsの基礎から関連テーマを幅広く学び、実務に生かせるプログラム。6月募集9月開講。

③ヘルスケア・マネジメントに興味がある医師、看護師、保健師、薬剤師などの医療従事者、介護従事者、病院や介護施設の経営に携わる方、これらの業界で働くことに興味がある方を対象とするプログラム。6月募集9月開講。

これらの履修証明プログラムを修了した後に、大学院に入学し、さらに深い学びと研究を継続している方もいます。特に②や③で修得した単位は、関係する大学院研究科に入学した場合、単位認定されることがあります。

本学では、今後もリカレント教育の推進に向けてさまざまな取り組みを進め、年齢を問わず、広く多くの方に学んでいただける機会を提供します。ご自身のスキルアップやキャリアアップに向けて、法政大学での学び直しを考えてみてはいかがでしょうか。

リカレント教育プログラムと制度

学ぶ目的に応じて、多彩なメニューを用意しています。

→教育プログラム
→学びの制度

仕事に生かせる技能や資格を取りたい

専門職大学院

国家・民間資格の取得
【大学院・学部（通信教育部含む）】



転職・起業・
副業に

興味のある内容だけ学びたい

公開講座・セミナー

科目等履修生
【大学院・学部】

さらなる学びの
きっかけに

学位を取得したい

通信教育部

長期履修制度
（大学院）

大学院

社会人入試
【大学院・学部】

学部

体系的に知識を学びたい

履修証明プログラム



知識の習得・仕事や
業務の質向上に

topics 1

「情報科学・データサイエンス・AI履修証明プログラム」を開設します

2022年9月より、大学院情報科学研究科にて「情報科学・データサイエンス・AI履修証明プログラム」を開設します。

近年、社会での重要性がさらに増しているデータサイエンスやAI（人工知能）について、情報科学の立場から、考え方や知識、技術を学び、身に付けることが狙いです。

開講期間は1年間、入学時期は4月と9月の年2回設けています。

topics 2

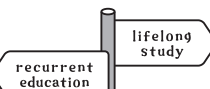
公開講座「各界プロの不動産鑑定士が解説—プライベートにもビジネスにも、不動産課題解決に役立つ基礎知識—」を実施します

2022年10月にリカレント教育オフィス公開講座「各界プロの不動産鑑定士が解説—プライベートにもビジネスにも、不動産課題解決に役立つ基礎知識—」をオンラインで実施します。相続・売買・投資・CRE戦略などの課題解決に至る考え方を、テーマごとに3週連続土曜日に学ぶことができる講座です。



リカレント教育・生涯学習の具体的なプログラムや制度について、詳しくはウェブサイトをご覧ください。

<https://www.hosei.ac.jp/recurrent/>





※撮影時のみマスクを外し、安全に配慮して撮影しています。



このページでは、法政大学憲章の「自由を生き抜く実践知」を体現している本学の卒業生を紹介していきます。

大切なのは、苦しいときの「あと一步」 その積み重ねが道を開く

株式会社オリエンタルランド 代表取締役社長兼COO

吉田 謙次さん

開園間もない東京ディズニーランドに魅了され、先の見えない中に未知の可能性を感じて、「あのテーマパークを支える仕事をしたい」とオリエンタルランドに入社した吉田謙次さん。会社を支える立場になるまでには、どんな時もあきらめない、「あと一步」の積み重ねがあったと言います。



入社後4年半は、パーク内のレストランでゲストの対応を担当した(写真は入社1年目の1984年)

パークと会社に新しい風を吹かせる

緊急事態宣言による1000日以上の休園もあり、上場後初の赤字という厳しい状況の中、入社37年目にオリエンタルランドの社長に就任しました。故事「治に居て乱を忘れず」になぞらえれば、コロナ禍はまさに乱世。多くの制限を経験して、人と人との関わり大切さが再認識された今、治世に向けて、守るだけでなく、攻める意識も大切だと考えています。

オリエンタルランドが運営する二つのテーマパーク、東京ディズニーランド®と東京ディズニーシー®の価値は、人と人の触れ合いを通じて得られる体験にあります。2023年度オープン予定の新エリア「ファンタジースプリングス」は、社長就任前から携わってきた一大プロジェクトです。訪れたゲストの皆さんに今までとは違った新しい体験をしていただくことで、会社にもいい風が吹く、そう信じています。

1行の文章にも複数の解釈 ゼミで培った「考え抜く」姿勢

大学受験で人生初めての挫折を味わいました。「人生は真剣に立ち向かわないと失敗する」と気付くことができたので、一浪したことも私にとっては意味があったと思います。

経済学部に入ったからには、学問的な視点で資本主義を学んでおきたいと考え、3年次にマルクス経済学を研究するゼミに入りました。全員で1冊の本を読み進め、1行の文章を何時間かけて深掘りする。次回に同じ文章を読むと、また違う解釈が出てくる。このゼミを通じて、「一つのことを考え抜く」姿勢が身に付きました。今でも、決断が必要なときは、深く、多方面から考えることを意識しています。

夢のある「不確実」な世界に 未知の可能性を感じて

大学4年の5月に開園間もない東京ディズニーランドへ初めて行きました。非日常的な世界に驚き、帰り際に目にした夕日に染まるパークの美しい景色に感動したのを今でも覚えています。

就職活動では金融業界を目指し、証券会社から内定をいただきました。ところがある日、大学の就職センターでオリエンタルランドの求人票を目にして、考えが一気に変わったのです。あの会社の説明会で聞いた「この不確実な時代に、確実性を求めることほど不確実なことはない」という言葉がずっと心に引っ掛かっていました。真意はわかりませんが、私の中では、安定を求めるよりも不確実なことに挑戦して

いきたいという想いが強くなり、それが「夕日に輝く別世界の風景」と結び付き、テーマパークの可能性にかけてみたい、その方が自分に向いていると感じたのです。

当時はまだ知名度も低く、「数年つぶれるのでは」という声もあって、父には大反対されました。また、コスチューム姿に抵抗はありませんでしたが、入社1年目に「こんにちは!」と声を掛けたゲストが偶然、小中学校時代の友人でかわれたこともありま

迷ったときはパークへ 答えは現場にある

したが、それでも自分が決めた道を信じて、前向きに取り組んでいました。

入社時は明確な目標もこれといったスキルもありませんでしたが、会社で成長させてもらいました。大きな転機となったのは、二つの異動です。一つは現場から経理部門への異動で、稟議書が何かも知らない、簿記の知識も全くない状態だったので1年ほど勉強をしました。その結果、実務のスキルが身に付き、パーク運営を経営視点で見えるようになりました。また、その時の上司が私たち若手の生意気な意見にも耳を傾けてくださった方で、自分が管理職に就いてからのお手本となっています。

もう一つは、パーク外の飲食施設を企画・運営する子会社への出向で、大手商社の外食のプロと7年ほど仕事をし、世の中のビジネスの厳しさとスピードを叩き込まれました。コミュニケーションや役割分担、粘り強さの大切さを学んだのも、この時期です。

そして私にとって最大の財産となったのが、入社直後の4年半の現場経験でした。今でも、自分の考えが机上の空論となってしまうように、常にパークに足を運んでいます。多少迷い

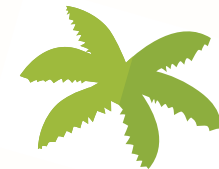


大学3年生の時に仲間と海に旅行に出かけたときの写真

Yoshida Kenji

1960年神奈川県生まれ。1984年経済学部を卒業後、株式会社オリエンタルランド入社。同社の子会社・株式会社アールシー・ジャパンへの出向を経験し、経理部長、フード本部長、第8テーマポート推進本部長などを歴任。2021年6月代表取締役社長兼COOに就任。





土地の水没と住民移転

人間環境学部人間環境学科教授 藤倉良

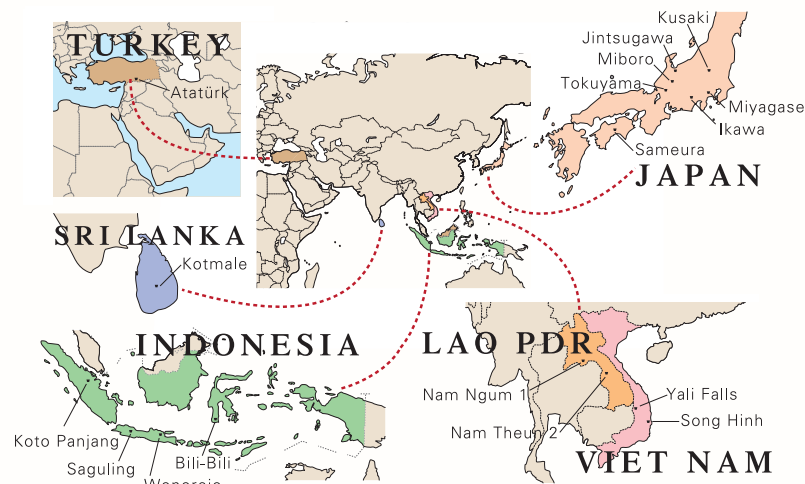
インドネシアのダム訴訟から 住民移転の研究に

私が住民移転の研究を手掛けるきっかけになったのは、インドネシアのスマトラ島に建設されたダムによる住民の立ちのきです。

1991年から1993年にかけて、私は環境庁（現在の環境省）職員として海外経済協力基金（現在の国際協力機構の一部）に出国留学していました。海外経済協力基金は、日本のODA（政府開発援助）の一形態である円借款を担当していました。円貨を低利・長期で開発途上国に貸し付け、それでインフラを建設してもらうのです。当時、スマトラ島のコトパンジャンダムの建設費用に円借款を充てる契約がまとまり、建設工事が始まっていた。

開発途上国にとってダムは重要なインフラです。農業用水を確保しなければならないからです。水力発電は慢性的な電力不足を緩和します。しかし、ダムは広範囲の土地を水没させます。水没地に住んでいる人は、立ち退かなければなりません。当然、立ち退きに対する補償は支払われます。代わりの土地が提供される場合もあります。

コトパンジャンダムの場合、インドネシア政府は通常より手厚い補償を行い、補償金に加えて移転先に土地と家屋まで用意するという約束をしていました。しかし、住民が実際に移転してみると農地や道路などは未整備のままで、住民は生活再建に大変な苦勞を強いられました。後に政府は遅ればせながら約束を果たし、今ではほとんどの住民が移転して良かったと考えるまでになりました。



調査対象ダムの位置。コトパンジャン（Koto Panjang）ダムは、インドネシアのスマトラ島（左端）中央部に位置する



より良い移転とは

私はその人たちの生活再建調査に関わったことで、住民移転に関心を持ちました。建設プロジェクトでは普通、完成後5年後くらいで事後評価を行います。しかし、ダムの場合、それだけでは十分とは言えません。移転した人たちは、その後もずっと住み続けるからです。移転住民の子どもたちは今の生活をどう考えているでしょうか。それらを明らかにするためには、移転から20年以上経過した後には状況を調査する長期的評価も必要です。

私は共同研究者と、アジアのダム建設によって移転した人たちの生活再建を研究することにしました。対象にしたダムは、日本やインドネシアに加え、ベトナム、ラオス、スリランカ、トルコの6カ国になりました（右下図）。これらの国では、外国人が住民調査を行うことは原則、認められていません。逮捕される可能性もあります。そこで、現地の大学の研究者に協力してもらい、現地の言葉で移転住民のアンケート調査を行いました。

その結果、移転の補償はこれまで現金より土地が望ましいと考えられてきましたが、実際には必ずしもそうでもないことや、子どもの教育支援を手厚くしたり、移転先で副業を営む機会が提供できたりすれば、移転の満足度は高まることなどが分かり、成果を1冊の英文書に取りまとめることができました。

海面上昇と住民移転

私が次に関心を持ったのは、地球温暖化による海面上昇で土地が水没してしまう島国です。

太平洋の赤道近くにマーシャル諸島共和国があります。人口約6万人という小さな国です。この国はサンゴからできた環礁だけで成り立っています。平均海拔は2メートルしかありません。

地球の平均気温が2度上昇すれば、海面が約1メートル上昇すると予測されています。これだけ上昇すると、国土の完全水没にまでは至らなくても、生活は難しくなります。地下水に海水が浸入すれ



高潮で石棺が流されてしまった、マーシャル諸島の首都・マジュロ市の墓地

ば井戸が使えなくなりますし、高潮の被害も大きくなります。気候変動の兆候はすでに現れています。雨水が重要な生活用水ですが、降水量が減少して水不足が頻発しています。上写真は高潮で石棺がさらわれてしまった墓地です。

マーシャル諸島と米国

マーシャル諸島共和国の国籍を持つ人は国外にも5万人ほどいます。米国が最も多く、3万人が住んでいます。この国は米国と特別な関係にあり、マーシャル人はビザなしで自由に米国に住み、働くことができます。でも、なかなか米国社会に溶け込めないのが現状です。同国人同士で一つの地域に固まって住み、低賃金の工場労働で収入を得ている人が多いのです。英語に不自由する人も多く、大学進学は難しく、良い職に就くこともできません。差別を受ける人も少なくありません。

マーシャル諸島の人たちが、どのような動機で国を離れるのか。また、どうしたら、米国での生活を向上させることができるのか。これが今の私のテーマで、米国やマーシャル諸島の研究者と共同研究を行っています。残念なことに新型コロナウイルスの感染拡大で現地訪問ができなくなり、協力者とはオンラインの相談で研究を進めています。感染拡大が収まり、共同研究者たちと現地調査を再開できる日を待っています。



Fujikura Ryo

1955年生まれ。東京大学理学部化学科卒業。同大学院修士課程修了。インスブルック大学博士課程修了（理学博士）。環境庁職員、九州大学工学部助教授、立命館大学教授を経て、現職。公益社団法人環境科学会副会長。専門は環境システム科学、国際環境協力。著書に『文系のための環境科学入門』（新版、有斐閣、2016年、共著）、『エコ論争の真贋』（新潮新書、2011年、単著）、『環境問題の杞憂』（新潮新書、2006年、単著）など。

生命の仕組みを探り 植物を病気から守る

植物の成長を妨げる病原菌ファイトプラズマの研究に取り組む大島研郎教授。
食料問題やエネルギー問題に連なる未来を見据え、植物を病気から守ろうと尽力しています。

生命科学部応用植物科学科 教授 大島 研郎



ユニークな病気を引き起こす
ファイトプラズマを研究

植物の健康を守るために、植物の病気について研究を進めています。

植物に感染する病原体は、カビなどの菌類、細菌（バクテリア）、ウイルスなどの多様な微生物です。その中で私が特に着目しているのが「ファイトプラズマ」という細菌です。

ファイトプラズマは植物の細胞内に寄生して性質を変化させ、正常な生育を妨げます。感染する植物の種類によって症状は異なり、アジサイが発症する「アジサイ葉化病」では、花が葉のような緑色になったり、花芯から芽が突き抜けるなどの病徴が見られます。

最もユニークな例が、クリスマスシーズンに見かけるポインセチアでしょう。赤い花が密集した小ぶりの観葉植物として知られていますが、本来は数メートルの高さにまで育つ樹木です。ファイトプラズマの感染により、茎や枝が密生する「てんぐ巣病」が発症し、姿が変化したのです。

ただ、このように植物の付加価値を高める感染例はまれで、ファイトプラズマに感染した植物の多くは著しく萎縮したり、実が育たないなどの病徴が出ることから、世界中で深刻な農業被害を広げています。

※1 微生物の寄生によって植物が病気にかかり、局部あるいは全身に異常を生じること。

病害により失われる植物は食料可能生産量の12%以上、約9億人を養える量だといわれています。食料供給だけでなく、バイオ燃料の推進などを考えても、植物の病気を予防し、健やかな生育を助けることは、世界の多くの問題解決につながると考えています。

残念ながら、ファイトプラズマの感染対策はまだ確立していません。抗生物質で一定の改善効果がみられることは分かっていますが、人間への影響を考えると食用には向きません。植物自身の感染に対する抵抗力（植物免疫）を高める手助けをすることで、環境に悪い影響を与えない治療法を見いだそうと努めています。

植物病の研究を通じて 「生命」の根源に迫る

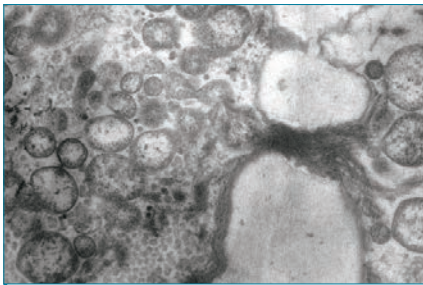
細菌の研究をしていた父の影響で微生物に興味を持ち、研究者の道を歩み始めました。

学び始めた当初は、酒や調味料の製造に欠かせない酵母など、人間に役立つ微生物の研究をしようと農芸化学を専攻していました。その後、縁あって植物病理学者である東京大学の難波成任教授に師事したことから植物の病気の研究に携わるようになり、ファイトプラズマに出合ったのです。

植物の健康を守るには、感染のメカ



葉化病で緑色になったアジサイ(右)。現状は治療法がなく、昆虫が媒介して感染を広げる可能性があるので伐採処分するしかない



植物の篩管に感染するファイトプラズマを電子顕微鏡で観察した写真。小さな粒子一つ一つがファイトプラズマの細胞



植物と学生を見る目が優しい大島教授。研究室ではコミュニケーションを大切に、一人一人に目を配りながら指導している

ニズムを解明し、予防や治療につながる対処法を導き出すことが重要です。しかしファイトプラズマは人工的に培養できず、研究を進めるのが難しい微生物でした。1967年に東京大学名誉教授の故・土居養二教授らによって存在が発見されてから、2004年に難波教授と共に世界で初めてゲノム解読に成功するまでに30年以上の時間がかかったほどです。

正体を明らかにしてみると、ファイトプラズマは代謝系遺伝子が少ない不可思議な細菌でした。自分では生命エネルギーをほとんど生み出さず、宿主に依存して生きる「究極の怠け者」だったのです。しかも、生物には不可欠だと思われていた要素（ATP合成酵素）すら持っていないでした。生物としての常識が覆されるような生態を目の当たりにして驚くとともに、「生命とは何か」という疑問に一石を投じる発見になりました。これからも、病気の解明を通じて、この疑問に向き合っていきたいと考えています。

チャット機能を活用して 双方向授業を実現

学科レベルで植物の病気を専門的に研究している組織はまだ少ないので、支援環境を整えてくれる法政大学には、とても感謝しています。

Oshima Kenro

1969年東京都生まれ。東京大学農学部農芸化学科卒業、同大学院農学生命科学研究科博士後期課程修了。博士（農学）。生物系特定産業技術研究推進機構派遣研究員、日本学術振興会特別研究員、東京大学大学院農学生命科学研究科アグリバイオリンフォマティクス特任助手、東京大学大学院農学生命科学研究科生産環境生物学専攻特任助教、同准教授を経て、2014年に本学生命科学部応用植物科学科教授に着任。現在に至る。日本植物病理学会評議員、日本マイコプラズマ学会理事を務める。



※2 ゲノム 生物の細胞内にあるDNA（デオキシリボ核酸）配列で示された、遺伝情報全体を示す言葉。

映画

画を題材として、差別や格差、戦争など、さまざまな問題に向き合い、ディスカッション形式で思考力を鍛えている佐藤千登勢教授ゼミ。学生の能動的な力に期待して、見守っています」と佐藤教授が語るように、活動の主体は学生です。

学生が自発的に行うサブゼミも活用して、佐藤教授や学生が推薦する作品を視聴し、映画に込められたメッセージをひもときながら、内在する問題を話し合います。授業後は展開された議論を要約したり、全員が提出する「映画鑑賞記録」から注目見解を選び出したりして共有。そうして思考を言語化する力を養っています。

バットマンの敵役であるジョーカーの誕生秘話を描いたハリウッド映画『ジョーカー』を推薦したのは、ゼミ長の三瓶さん。「社会的な格差や貧困の中で、弱者から悪のカリスマになるまでが描かれていて、正常と狂気の境界、善と悪の判断について、幅広い意見が聞けると思いました」と、議論の種を投げかけます。

夢に入り込んで、潜在意識にアイデアを植え付けるという、SFを題材にしたハリウッド映画『インセプション』を選んだのは宮内さん。「人間の内面の話だけに、興味深い議論が交わられました。幅広い意見を受け取ることでも多角的に視野が広がります」。

国際文化学部国際文化学科 佐藤千登勢教授ゼミ

映画を題材に 多彩な意見を交換 思考力を鍛える



ゼミナール・研究室

上段左から、佐藤千登勢教授、三瓶潤さん（ゼミ長）、佐藤彩夏さん（ゼミ長）、下段左から、渡辺遼斗さん、古澤咲良さん、宮内智也さん ※全員、国際文化学部国際文化学科4年

※今回はオンラインで取材しています



2022年度のゼミ生。コロナの沈静化を願いつつ、時間の制約なしでしっかりと議論できる合宿などの課外イベントも計画中



推薦者が勧める映画を全員で鑑賞した後、映画内で提起された問題をテーマに、グループに分かれてディスカッションを進めていく



2022年3月、年度末の懇親会を開催。ロシアやウクライナ料理を堪能しながら思い出を振り返り、2021年度の卒業生を送り出した（撮影時のみマスクを外しています）

自分は何を信じるのか、総合的に判断する力が養えると感じています」と、成長の実感を語ります。

七つの大罪をモチーフとした映画『セブン』を通じて、「都会の無関心」に着目したのは渡辺さん。「無関心でいることを、皆はどう感じるのか、それは罪なのか。映画を介した問いかけに、十人十色の答えを知ることができると、このゼミの面白さだと思います」と目を輝かせます。

コロナ禍で、対面授業が制限されていた時は、あらかじめ各自で作品を視聴してから、ビデオ会議ツールを利用してグループディスカッションを実施。「さまざまな制限はありませんでしたが、対面の授業の時よりも時間に余裕があったので、濃密な話し合いができました」と語るのは古澤さん。「意見を伝える努力をする中で、自分の思いや感情を言語化していく能力を培うことができたと思います」と、自身の成長を喜びます。

「どんな意見でも肯定的に受け止めてもらえるので、人前で話すことへの苦手意識がなくなりました」と語るののは、佐藤さん。「ゼミでは、議論の最中も、お互いを尊重し合っています。その雰囲気を守りながら、何でも言えるような関係性を築いていきたいと思っています」と、ゼミの未来に期待を寄せます。

小

金井キャンパスの車好きが集う自動車研究会。サークル所有の中古車を研究対象に、自動車の性能を分析し、部室棟ガレージで部品の整備や改造、パーツ交換などの技術力を磨いています。

コロナ禍の影響により、皆で集まって作業をするガレージの利用が制限されていたため、2020年度、2021年度は活動を縮小。サークル全体での活動は控えて、個々に整備作業をしたり、SNS（交流サイト）で情報を交換するなど、個人的な活動が主となりました。

「先輩たちには本当にお世話になりました」と語るののは岡本さん。「個人的にドライブに誘ってもらったり、日常的な課題や定期テスト、研究室選びや就職活動まで詳しくアドバイスをしてくれて、心強かったです。交流が制限される中で、大学生活の魅力を教えてもらいました」と頼もしい背中の思い出を振り返ります。

「他大学が開催していた走行会イベントに有志で参加し、筑波サーキットでタイムトライアルに挑戦したことが印象深いです」と語るののは町田さん。「公道では出せないスピードを体感できたのもサーキットならではの経験でした。車をいじるだけでなく、走りを楽しみたい部員もいるので、コロナの様子を見ながら、機会を

自動車研究会

研究車両で実践的に 整備技術を磨き、 車の魅力を探究

クラブ・サークル

※今回はオンラインで取材しています



上段左から、矢萩太輝さん（創生科学科3年／代表）、町田一馬さん（電気電子工学科2年）、下段、岡本陽嗣さん（機械工学科2年）※全員、理工学部



作業場であるガレージにて。今は2年分の空白期間を埋めるように、サークル所有車（マツダ・ロードスター）の整備に手をかけている（撮影時のみマスクを外しています）



サークルで所有している車両整備用の工具類。自作パーツの取り付けなどもできるほど、充実している



筑波サーキットでの走行会では、それぞれが自分や家族が所有する自動車を持ち寄って参加。中にはサークル内で代々受け継がれている車両

「設けていきたいです」と、これからの活動に期待を寄せます。

コロナ前は、合宿期間を利用して自動車のパーツの構造や性能を分析し、考察する研究活動も実施。例えば、走行時に空気の流れを整えてくれるリアスポイラー（車体後部に取り付けられている突起のようなパーツ）の重要性を考察したり、車用シートを試作して、乗り心地や性能の変化などを確かめたりしてきました。

考察結果はレポートにまとめて、大学祭でブース開催される「工学展」や、複数大学の理工学系サークルが例年12月に合同開催する「理科サークルフェスタ（理科フェス）」などで展示し、知識を蓄積しています。2022年度は3年ぶりに合宿を再開できる見込みなので、新たな研究活動に取り組む予定です。

「車の知識や技術に興味のあるメンバーが集まっているので、卒業生も含めた人と人のつながりを大切にしながら、お互いが高め合えるような活動をしていきたいです」と語るののは代表の矢萩さん。「新入部員の中には免許や車を所有していないメンバーもいるので、みんなで楽しめるようなイベントとして、レーシングカーの走行会なども計画しています」と、本格的な活動再開に向けて、エンジンを温めています。

THE SCENE

大学有数の歴史と実力を誇る、法政大学体育会。
そんな伝統ある40体育会が日々活動しているワンシーンを、迫力あるカラーグラビアで紹介します。



重量挙げ部

撮影場所：市ヶ谷総合体育館
撮 影：田中伸弥
集合写真：重量挙げ部提供

重量挙げ部は、創部70年を誇る伝統ある部です。16人の部員は、全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会で団体優勝することを目標に掲げ、市ヶ谷総合体育館地下1階の重量挙道場で、日々練習に取り組んでいます。2021年度に開催された「第67回全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会(I部)」では、個人戦の102kg級、+109kg級(大会新記録)で優勝するなど、チーム一丸となって全力で取り組んだ結果、9年ぶりに団体優勝をつかみ取り、大学日本一に輝くことができました。大会連覇できるよう2022年度も練習に励んでいきます。応援よろしく願います。

Message

「自由を生き抜く実践知」を
体现している
学生の声をお届けます。

大きく成長させてくれた場所

体育会野球部 主務
経営学部経営戦略学科4年

Miyamoto Kotomi

宮本 ことみ さん

三つ上の兄が野球をしていたことがきっかけで、幼い頃から野球が身近にあり、高校、大学と野球部のマネージャーをして、もうすぐ7年がたとうとしています。高校は法政大学の付属校で、学校行事の六大学野球応援で、「東京六大学野球」の規模の大きさに圧倒された記憶が今でも鮮明に残っています。その日から今日までひたむきに突っ走ってきましたが、今振り返ると多くの試練がありました。

その中でも特に大きく感じたのは「性別の差」です。創部107年を越える伝統のある法政大学野球部ですが、女性が「主務」という統括ポジションを務めたことは一度もありませんでした。私自身、組織力を強化するためには、男女差を解決することが必要だと思い、自ら声を上げ、組織改革に努めました。そして今日、主務として活動していることは私にとって大きな財産であり、今後の野球部に少しでも何かを残すことができたらうれしく思います。

主務になった今は「日本一」にふさわしいチームとは何か」を日々考え、活動しています。また、何事にも前向きな考え方を心掛けています。以前、先輩から「野球を経験していな



い私だからこそ見える視点がある」と言っていたことがありました。今までは野球を経験していませんが、この言葉をいただいたことで、自分の考え方の幅が広がったように感じます。なかなかうまくいかないことも多く、悔しい思いが絶えない毎日ですが、ラストシーズンを笑って終えられるよう、今は必死に活動に取り組んでいます。

困難が待ち構えています。それは反対意見や環境などさまざまですが、どうしても覆らないこともありました。しかし、大切なのは「今の自分に正直に行動すること」だ。この4年間で確信が得られました。また「自由と進歩」の法政大学だからこそ、それがかなえられるものであってほしいと心から願っています。私はあと半年ほどで引退を迎えますが、後輩たちには絶えず野球部を進化させていくしてほしいと思います。

最後にありますが、今後とも法政大学、法政大学体育会、そして野球部をよろしく願っています。

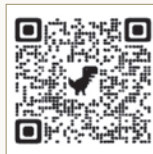
2022年度後援会運営について

後援会総会で2022年度の事業計画や役員が決定しました

後援会総会と 電子表決の結果

後援会ウェブサイト上で2022年度後援会総会の電子表決を行いました。全ての議案において、行使された議決権の賛成が半数を上回り、6月4日付けにて可決・承認されました。総会資料は後援会ウェブサイトに掲載しています。

※電子表決が行われない場合は、議長に一任として取り扱いといたしました



<https://www.hosei-koenkai.org/branch/shutoken/-2022.html>

2022年度 支部総会・父母懇談会開催中



2022年度の支部総会・父母懇談会は開催形式を「支部単独自主開催」と初の試みである「地域ブロック開催」とし、どちらの形式で開催するか各支部において選択していただきました。

現在、地域ブロックは北海道ブロック・東北ブロック・関東ブロック・中部ブロック・中国ブロック・四国ブロック・九州ブロック・沖縄ブロックにて開催が決定しております。参加者数の減少や支部の皆さまへの準備負担を少しでも軽減するために企画いたしました。現在のところ、参加支部役員の皆さまには大変好評を頂いております。なお、地域ブロック開催の皆さまには支部ごとにウェブサイトにて電子表決を行います。

2022年度 後援会役員

2022年度の後援会役員が決定しました。

会 長	鯨岡 光男	市瀬 恵美子	滝沢 かおり	松崎 浩司		
副 会 長	浅見 佐亨	小林 こずえ	白鳥 高	和佐原 征一郎		
総 務	小出 由起子	渡邊 千恵	地頭江 正美	豊田 稔子		
常 任 幹 事						
4年	石原 康弘	井上 宏	島村 孝子	添田 一恵	長谷川 裕美子	細井 圭一
3年	荒田 栄作	喜多 紀州	小泉 千恵	中島 順子	萩原 順子	間瀬 頼彦
2年	渋谷 美由紀	下村 利恵	本田 美輝	昌山 友美子	丸塚 久美	山崎 雅彦
幹 事						
4年	岩佐 大秀	蛸原 典子	小中 道子	杉山 美佐和	玉井 裕子	仲間 ルリ子
	中村 章子	畑島 久美子	柵木 久美子	松尾 奈穂子		
3年	新井 健一	石田 勝行	稲木 裕加里	岩田 敏一	尾島 淳	管野 一郎
	桑原 宏隆	坂本 隆	笹林 真弓	清水 真美子	米元 麻枝	
2年	赤塚 真紀子	石塚 好明	太田 ヒカル	岡島 健	香川 敬三	木田橋 あすか
	草ヶ谷 誠一	坂井 英美子	竹久 久美子	中西 良尚	林 弘行	藤崎 隆弘
	森山 加世子	吉岡 健				
1年	井崎 美妃	石原 修二	泉浦 絵美	荻野 賢司	長田 信春	鎌田 祐子
	菅野 美穂	郡司 貴志	幸山 美佐子	佐伯 康子	齋藤 理香	櫻井 俊明
	佐々木 英世	志満 光史	清水 泰樹	須永 幸代	長谷川 万由美	増田 正博
	森川 洋	山上 晃央	山川 隆治	山口 恵美		
監 査	廣島 映一	吉川 信宏				



個別相談・父母懇談会のご案内

キャリア形成（就職活動） に関する個別相談

（本誌2022年6・7月号に既掲載の情報です）

後援会会員（保証人）向けに、＜事前申込・定員制＞の大学職員による個別相談をオンライン（Zoom）・電話で実施します。9・10月は、キャリア形成（就職活動）に関する個別相談です。下記アドレスより「2022年度キャリア形成に関する個別相談事前申込フォーム」にアクセスして、お申し込みください。



<https://forms.gle/tACpdBPGRX8qZRvV6>

対 象	学部3年生以上の後援会会員
相談日	9月24日（土）9:00～12:00 10月1日（土）9:00～12:00
申込締切日	9月4日（日）

※締切日厳守をお願いいたします

就職状況の説明 オンライン公開

父母懇談会では例年、「就職状況」などに関してキャリアセンター職員に説明いただくプログラムを実施しています。毎回好評のこのプログラムを、昨年度に続き、今年度もオンラインにて公開しています。後援会ウェブサイトの会員限定特設ページにアクセスして、ご覧ください。資料の閲覧・動画の視聴には、下記のIDとパスワードの入力が必要です。

<https://www.hosei-koenkai.org/members>

首都圏父母懇談会

■ 市ヶ谷キャンパス 10月2日（日）

法学部、文学部、経営学部、国際文化学部、人間環境学部、キャリアデザイン学部、デザイン工学部、GIS（グローバル教養学部）の父母・保証人対象

■ 小金井キャンパス 10月9日（日）

情報科学部、理工学部、生命科学部の父母・保証人対象

■ 多摩キャンパス 10月15日（土）

経済学部、社会学部、現代福祉学部、スポーツ健康学部の父母・保証人対象

【首都圏会員の皆さま】

東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県に在住の父母・保証人の皆さまには、9月1日（予定）よりキャンパスごとに順次、案内状を発送します。案内状をご確認の上、お申し込みください。

【支部会員の皆さま】

首都圏会員以外の父母・保証人の皆さまも、お子さまが所属する学部のキャンパスの父母懇談会にオンライン（Zoom）でご参加いただけます（一部プログラムを除く）。9月にご案内予定の、下記後援会ウェブサイトの「首都圏父母懇談会 支部会員申し込みサイト」からお申し込みください。

※首都圏会員の皆さまは、ウェブサイトからのお申し込みはできません。

<https://www.hosei-koenkai.org/>



後援会だより

「子どもの母校は我が母校」
「後援会だより」は後援会が保護者の皆さまと作るページです。

後援会運営委員からのレポート

新幹事予定者説明会



後援会副会長
市瀬 恵美子 (駿介/生命科学部)

5月21日(土)、市ヶ谷キャンパスのボアソナード・タワー26階「A会議室」にて、2022年度後援会首都圏本部「新幹事予定者説明会」を開催いたしました。

昨年度はコロナ禍のため、オンライン(ZOOM)形式での開催となりましたが、今年度は対面形式で実施することができました。実際に顔を合わせると、説明内容が伝わりやすく、また新幹事予定者同士で意見交換も行うことができ、今後の後援会活動における連携をよりスムーズにする良い機会になりました。

説明会では、役員の紹介後、後援会組織と運営、幹事の役割について、さらに事業計画と予算案、後援会行事予定について説明いたしました。

また、卒業生・後援会連携室からは法政スポーツコミュニティ(HSC)についてご案内いただき、以前のような応援はできていないものの、オレンジ色のマスクを着けて「春の東京六大学野球」を観戦したという報告がありました。今後も、コロナ禍でも頑張っている学生のスポーツ活動を支援してまいります。

その後、市ヶ谷キャンパスと小金井キャンパスでキャンパス見学会を行いました。

市ヶ谷キャンパスでは富士見ゲート、外濠校舎、大内山校舎などを回り、エスカレーターで移動ができる、きれいで開放的な校舎に感動しました。後援会が寄贈した消毒液スタンドも設置され、役に立っているのを実感できました。

小金井キャンパスでは、3学部の施設・研究室を案内していただき、研究内容の説明を受けました。参加した皆さんは、興味深いお話に熱心に耳を傾けていました。

長い一日となりましたが、終始和やかな雰囲気の中で大学、後援会への理解を深めることができました。

キャンパス見学会の開催に当たり、ご協力いただきました教職員の皆さまに心より感謝申し上げます。

市ヶ谷キャンパス富士見ゲートの購買書籍部(生協)前



小金井キャンパス西館の1F 情報科学部図書室前のエントランスロビー

法政大学後援会事務局

〒102-0073
東京都千代田区九段北 3-2-3 法政大学九段校舎 4F
TEL: 03-3264-9350
FAX: 03-3264-9367
E-mail: koenkai@hosei.ac.jp



後援会ウェブサイト
<https://www.hosei-koenkai.org/>

山口県支部からのレポート

新入生父母の集い



山口県支部長
岡村 幹夫 (柊希/経営学部)

6月5日(日)、山口市のセントコア山口にて14人(会場参加9人、オンライン参加5人)で新入生父母の集いを開催しました。

卒業生の河野慎平さんによる、大学生活をより有意義にする各種活動のプレゼンは、保護者にとって大変参考になるものでした。

GIS担当の星野美寿々主任からは、ウィズコロナにおける学業体制、学生が留意すべき事項などを丁寧にご説明いただき、その後の質疑応答も含めて、直接コミュニケーションを図れた貴重な機会となりました。

参加者からは、「とても和やかな雰囲気、遠慮なく意見交換のできる支部です」というお言葉を頂き、山口県支部の絆を確実につなげられたと感じています。

大学、後援会本部、他県の支部の皆さまとも連携しながら、引き続き、子どもたちにとって意義のある支部活動を進めていく所存です。よろしくお願いたします。



福岡県支部からのレポート

新入生父母の集い



福岡県支部長
吉元 真由美 (健悟/情報科学部)

6月11日(土)、福岡市のキャナルシティ博多貸会議室で新入生父母の集いを開催しました。

福岡県校友会の中村勇治さんからは、Uターン学生のサポート方法を模索中であり、校友会と後援会の交流を深めていきたいなどのお話がありました。

大学からは、経済学部事務課の鎌田太郎課長にご出席いただき、「大学は自ら問題を見つけ、自分なりに答えを出し能力を身に付ける所。実志願者数第1位の、素晴らしい歴史ある大学で学んでいることを誇りに思ってください」とお話しいただきました。

集まる機会のなかった2、3年生父母も交えて活発な情報交換が行われ、どのテーブルでも笑顔が見受けられました。

3年ぶりの会場開催に加え、初のオンライン併用とあって、役員一同手探りの状態でしたが、後援会事務局などのサポートのおかげで無事に終えることができました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。



校友会だより

一般社団法人法政大学校友会(以下、校友会)は、「法政ネットワーク」強化を目的に、校友会憲章に謳っている「価値の創生・共創」を基本理念に、大学、後援会と手を携えて三位一体で諸事業を推進してまいります。



法政大学校友会会長 竹中 宣雄
1972年社会学部卒業、ミサワホーム株式会社入社。2008年同社代表取締役社長執行役員、2017年取締役会長。2022年6月に会長職を退任して取締役として留任。校友会においては、現在に至るまで約20年間、法政財界人倶楽部で活動している。本部署員としては、2019年参与、2020年副会長を経て現在に至る。2017年藍綬褒章受章、2022年旭日重光章を受章。

この度、歴史と伝統ある法政大学校友会の会長に就任し、責任の重さに身の引き締まる思いです。
コロナ禍に伴い、校友会の三大イベントやパートナー組織の活動が中止や延期を余儀なくされる中、校友会ではスローガン「全ての校友がつながる」の下、さまざまな取り組みを行ってまいりました。2021年4月に「校友会公式アプリ」を導入し、スマートフォンで最新情報の閲覧や電子会員証の表示、各種手続きなどが行えるようになりました。さらに2022年1月には、会員向け優待サービス「校友会クラブオフ」の提供がスタートしました。国内外20万以上の施設で優待・割引が受けられるサービスで、多

くの会員にご好評を頂いております。今後は、左記二つのテーマに取り組んでいきたいと考えております。
① 学生に対する支援の強化
「校友会が持つリソースの展開」
校友会には、大学で学んだスキルや経験を生かして、社会に貢献している会員が大勢います。このリソースを活用し、第一線で活躍する卒業生の実績・ノウハウを学生支援に役立てようと模索中です。ある高校の元校長が著書の中で、「先輩の実績は後輩へのプレゼント。後輩の実績は先輩のステータス」と述べています。学生時代に先輩から伝えてもらったスキルやノウハウは、学生が社会に出てから必ず役立つはずで

「継続的な募金事業の実施」

校友会では、大学・学生への支援を目的に、卒業生に寄付のご協力を広く呼び掛けております。また、コロナ禍で苦しむ学生を支援するため、2020年度には校友会から大学に3000万円の寄付を行いました。今後も募金事業を通じて、学生支援に取り組んでまいります。



アプリTOP画面イメージ



校友会公式アプリのダウンロードはこちらから

一般社団法人 法政大学校友会事務局 Tel 03-3264-1831 Eメール info@hoseinet.or.jp ウェブサイト https://hoseinet.or.jp/

校友会新会長挨拶 竹中宣雄

6月25日の定時総会にて、校友会の会長に竹中宣雄さんが就任されました。今後の校友会の取り組みについて、竹中新会長にお話いただきます。

② 校友ネットワークの拡充

2014年の一般社団法人化に伴い、2013年度以降の卒業生は、卒業と同時に校友会に入会する仕組みとなり、20代の青年層会員が大幅に増加しました。一方で、2012年度以前の卒業生は任意の加入であるため、30〜50代の現役層会員の数が伸び悩んでいます。またこの年代は、男性会員に比べて女性会員が少ないことも課題の一つです。校友ネットワークの拡充に向けて、現役層と女性会員の増強に努めます。

引き続き大学・後援会と連携を深めながら、校友会活動に取り組んでまいります。皆さまのご協力、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



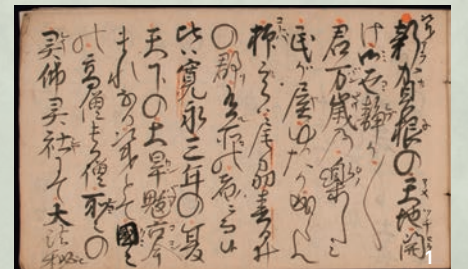
HOSEI ミュージアム
HOSEI UNIVERSITY MUSEUM

野上記念法政大学能楽研究所 創立70周年記念特別展示 危機と能楽

能楽には600年以上の歴史がありますが、その道のりは常に平坦だったわけではありません。長い歴史の中で、能楽は災害や戦争などさまざまな危機に直面し、社会の変革期を幾度も経験してきました。そして、昨今の能楽を取り巻く環境も、新型コロナウイルス感染症拡大による公演中止、稽古人口の減少、慢性的な後継者不足など、危機的な状況にあります。能楽はこれらの危機とどう向き合い、どう乗り越えてきたのでしょうか。HOSEIミュージアムでは、野上記念法政大学能楽研究所が今年、創立70周年を迎えるのを記念して、市ケ谷キャンパスの4会場で「危機と能楽」と題する特別展示を開催します。

いつあった1952年。当時の研究所がとりわけ力を注いだのが、能楽に関する文献資料の収集でした。戦後の混乱により貴重な能楽資料が散逸してしまうのを防ぐことが、研究所に課せられた最初の使命だったのです。
こうして収集された能楽資料の数々は、幾多の危機を乗り越えて奇跡的に伝えられてきた、歴史の生き証人でもあります。そこで、ボアソナード・タワー14階の博物館展示室では、能楽の危機に関わる歴史的な資料を「自然災害と能楽」「疫病と能楽」「戦争と能楽」のテーマ別に展示します。

た感染対策用の覆面など、さまざまな資料により紹介します。
もう一つのサテライト(ボアソナード・タワー26階)では、近代東京の能楽堂が、関東大震災や東京大空襲を経てどのような変遷をたどったのかを、能役者の談話なども交え、パネルで紹介します。
九段北校舎1階のミュージアム・コアでは、これらのテーマを概観する映像を流すとともに、靖国神社能舞台、神楽坂の矢来能楽堂などを含めた周辺地図を掲示し、市ケ谷キャンパスを中心に、過去から現在に至る能楽の地域的なつながりを知ることができる内容になっています。また、9月19日にはボアソナード・タワー26階スカイホールでシンポジウムを開催し、矢来能楽堂の観世喜正さんにもご登壇いただく予定です。



野上記念法政大学能楽研究所 特別展示

「危機と能楽 ―いかに受け止め乗り越えてきたか―」

場所：市ケ谷キャンパス九段北校舎1階ほか

期間：2022年9月1日～2023年1月31日

詳細：HOSEIミュージアムウェブサイト



※HOSEIミュージアム開設準備基金により制作しました「光悦謡本」「二曲三体人形図」のレプリカを、本展示で初公開します。

期間は展示場所により異なります。日程や内容は変更になる可能性があります。詳しくは上記QRコードからご確認ください。



- 謡本『龍神教化書』(金春家伝来)。江戸初期の新作謡で、干ばつに苦しむ人々を救うため、明岩和尚が龍神を教化して雨を降らせるという内容
- 1923(大正12)年9月の関東大震災で倒壊後、修復中の観世宗家舞台(『能楽画報』1923年11月号)
- 戦争をテーマとした新作品『忠霊』の彫刻(鍔仙会蔵。野上記念法政大学能楽研究所寄託)
- 小鼓胴「錠図菊梨」(山崎家伝来)。伊勢湾台風の影響を受けつつも、大切に伝えられてきた



「法政大学懸賞論文」 「デジタルコンテンツ・コンテスト」募集

学生の研究活動を奨励し、論理的記述に関する能力の訓練・向上を図ることを目的とした「法政大学懸賞論文」、デジタル技術を駆使してアイデアやメッセージを視覚的に表現する「デジタルコンテンツ・コンテスト」の本年度の募集要項を公開しました。

【応募期間】

法政大学懸賞論文：
9月26日(月)～10月3日(月)
デジタルコンテンツ・コンテスト：
9月16日(金)～10月4日(火)



法政大学懸賞論文



デジタルコンテンツ・コンテスト



理工学部電気電子工学科の柴山純教授が 「Session Organizer Award」を共同受賞

4月25日(月)、理工学部電気電子工学科の柴山純教授が「PIERS2021-2022(フォトンクス・電磁気学研究シンポジウム／Photonics and Electromagnetics Research Symposium)」にて、Session Organizer Awardを、光回路の研究で世界的に著名な室蘭工業大学の辻寧英教授とともに共同受賞しました。

この賞は、今回の会議から新設された賞で、会議で顕著な貢献をもたらしたセッションオーガナイザーに贈られるものです。

今回はModeling, Numerical Simulation and Theory in Optics and Photonics(光学およびフォトンクスにおけるモデリング、数値シミュレーションおよび理論)のセッション運営に対する貢献が認められました。



学生空手選手権大会の 団体戦・個人戦組手で好成績

5月5日(木)に開催された「第58回東日本大学空手選手権大会」で、空手部は男子組手の部で団体戦を勝ち上がり、第3位の成績を収めました。

また、5月22日(日)に開催された「第50回関東学生空手道選手権大会」では、個人組手に出場した伊藤颯輝選手(国際文化学部4年)が優勝を飾り、全日本学生空手道選手権大会への出場を決めました。

これからも空手部への応援をよろしくお願いいたします。



海外にいる本学留学生の方々へ ダイアナ・コー副学長からメッセージを公開

ダイアナ・コー副学長から、新型コロナウイルス感染症の影響で日本に入学できていない留学生の方々に向けたビデオメッセージが公開されました。

グローバル教育センター長を務めるコー副学長はメッセージの中で留学生を気遣い、困ったことがあればグローバル教育センターがサポートすることなどを語り、「今は離れていても、私たちはつながっています」という思いを伝えました。



傘のシェアリングサービス「アイカサ」を 市ヶ谷キャンパスで導入

4月27日(水)、市ヶ谷キャンパス内に傘のシェアリングサービス「アイカサ」を導入しました。本学公認のSDGs学生組織「SASH／サッシュ(SDGs Action Students of HOSEI)」の提案による、環境負荷を低減する施策の一つです。

ビニール傘を購入する必要がなくなるので、学内のプラスチックごみ削減の促進、カーボン・ニュートラルへの貢献につながります。



多摩キャンパスで 「留学生交流会」を開催

5月19日(木)、国際交流サークルFiTus(フィッタス)主催の留学生交流会が3年ぶりに開催されました。留学生と交流を希望する日本の学生も加わり、参加者は自己紹介ゲームやNGワードゲーム、ビンゴ大会などのミニゲームを楽しみました。

渡日したばかりの留学生にとって、知り合いを増やし、楽しい留学生活を送るきっかけとなる交流会となりました。



法政フェア2022 開催決定! —法政大学の過去と今を知る—



法政フェアは、すべての“法政ファン”に向けて、法政大学を深く知ってもらい、継続的に大学と関わる・利用してもらうきっかけとなることを目的に開催しています。2022年度は「法政大学の過去と今を知る」をテーマに開催します。

- 開催期間:9月16日(金)～10月16日(日)
 - 実施方法:オンライン
 - 企画内容(予定)
 - ・大学紹介
 - ・リカレント教育紹介
 - ・法政思い出写真2022
 - ・研究紹介
 - ・学生活動紹介
 - ・法政大学×SDGs取り組み紹介
- その他さまざまなコンテンツをご用意します!



法政フェア2022特設サイト

法政フェアについてのお問い合わせ先 卒業生・後援会連携室 ☎03-3264-4924(平日9:00～11:30、12:30～17:00) E-mail: koyu@hosei.ac.jp



『H-Line』2022を発行

大学の各種データを掲載した学校法人法政大学案内『H-Line』2022(A5判64ページ)を発行しました。本冊子は主に、学外・一般の方向けに作成しています。

一口坂校舎1階の情報発信スペースにて、受け取りが可能です。



一口坂校舎のご案内



「2023大学案内・入試ガイド」と 15学部の「学部紹介パンフレット」が完成



「2023大学案内・入試ガイド」と本学全15学部の「学部紹介パンフレット」が完成しました。全国で実施する進学相談会などで配布する他、ウェブ上でもご確認いただけます。

法政大学入試情報サイト

法政 入試

検索

※一部パンフレットはデジタル版のみ作成しています。



「第39回スポーツフェスティバル」を開催

5月26日(木)、「第39回スポーツフェスティバル」を開催しました。多摩キャンパスの開設以来、毎年恒例の行事ですが、新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりの開催となりました。

当日は会場を屋外に限定し、ソフトボール、ドッジボール、ポッチャ、フレスコボール、ストラックアウト、輪投げ、パフォーマンス、たまキャン謎解き街歩きを実施しました。

陸上競技場や野球場、ラグビー場を使い、多くの学生がクラスやゼミなどでチームを組んで交流を深めました。参加者からは「楽しかった」という声が多く、笑顔が印象的なイベントとなりました。来年も開催予定ですので、ぜひご参加ください。



2022年度大学祭日程

2022年度の各キャンパスの大学祭日程は下記の通りです。
※下記は予定であり、変更の可能性もあります。

	市ヶ谷	多摩	小金井
準備	11月2日(水) 3時限以降	10月14日(金) 3時限以降	11月2日(水)
大学祭	11月3日(木) ～11月6日(日)	10月15日(土)・ 16日(日)	11月3日(木) ～11月5日(土)



2022年度本学独自の 奨学金の採否結果を発表

2022年度の本学独自の奨学金(新・法政大学100周年記念奨学金、法政大学サポーターズ奨学金、法政大学評議員・監事奨学金、大成建設株式会社奨学金、株式会社エイチ・ユー奨学金等)の採否結果が8月下旬に発表されます。申請された方は、法政大学情報ポータル内のメインメニュー「奨学金申請」でご確認ください。

採用期間は1年間で、年額を2回に分けて給付します。8月下旬と12月下旬に申請の口座に振り込み予定です。

いずれの奨学金も返済不要の給付型ですが、2022年度中に休学、退学、除籍などの学籍異動があった場合は、返還の義務が生じます。また今年度の採否を問わず、毎年申請が可能です。2023年度の申請時期は2023年6月上旬を予定しています。



文学部100周年イベントを開催

文学部創立100周年を記念し、記念行事「文学部の過去・現在・未来―百年間のたからもの―」を実施します。第一部は野上記念法政大学能楽研究所との合同企画、第二部では各学科の歩みを知る歴代の先生方による討論を予定しています。

2022年10月15日(土)13:00～17:00

第一部 講演(日本文学科伊海孝充教授)、演舞・演奏、展示

第二部 シンポジウム「文学部の過去・現在・未来―百年間のたからもの―」

登壇者:牧野英二元教授(哲)、堀江拓充元教授(日文)、結城英雄元教授(英文)、山名弘史元教授(史)、佐藤典元教授(地理)、吉村浩一元教授(心理)

オンラインでの実施・配信を予定していますので、全国各地からぜひご視聴ください(詳細は後日、文学部ウェブサイトに掲載します)。予科、そして文学部創設以来培われた法政大学の学風「自由と進歩」、また法政大学憲章「自由を生き抜く実践知」のルーツをたどる催しとなるはずだ。

文学部
ウェブサイト

本学専任教職員の最近の著書、編纂書、訳書をご紹介します。

BOOKS



越境学習入門

組織を強くする「冒険人材」の育て方

越境学習とは、個人にとって居心地のよい慣れた場所であるホームと、居心地が悪く慣れない場所だがその分刺激に満ちているアウェーとを往還する（行き来する）ことによる学びをいう。本書は、越境学習者への詳細な調査に基づき、その全体像を解説し、企業と個人が越境学習を開始・実践する方法を提案している。

石山 恒貴 他1名 著
大学院政策創造研究科 教授

出版社：日本能率協会マネジメントセンター
発行：2022年3月



幻のシロン・チーズを探せ 熟成でダニが活躍するチーズ工房

ヨーロッパの伝統的なチーズ製法の一つとして、独ミルベンケーゼ、仏ミモレット、仏アーティズーなど、チーズにつくダニ（シロン）を使って熟成するシロン・チーズがある。それぞれのチーズ工房には、作り手のチーズとシロンへの愛情があふれている。チーズとダニを愛する生物学者が現地を訪れ、シロン・チーズの謎に迫る。

島野 智之 著
国際文化学部国際文化学科 教授

出版社：八坂書房
発行：2022年2月



女性自衛官

キャリア、自分らしさと任務遂行

圧倒的に男性が多く、「男性的」な構造が色濃く反映された組織に生きる「女性自衛官」。任務を遂行する上で抱える課題、壁をどう乗り越え壊してきたのか。「この国を守る」と誓う母親たちが見いだした究極のワークライフバランスとは。子育て経験のある幹部女性自衛官の生の声を基に描いた、新・女性キャリア論。

武石 恵美子 他1名 著
キャリアデザイン学部
キャリアデザイン学科 教授

出版社：光文社
発行：2022年3月



現場の声から考える 人間中心設計

売れる製品やサービスを開発するにあたって、人間中心設計（ユーザーを中心としたモノづくり、以下HCD）を提唱している。HCDが提起された背景、普及してきた経緯を概観する他、各企業でのHCDの考え方や現場での取り組み、関連規格に対する意見など、率直な現場の声をまとめた書。

橋爪 絢子 他1名 著
社会学部メディア社会学科 准教授

出版社：共立出版
発行：2022年3月

※日外アソシエーツ 図書内容情報BookPlusを参照

HOSEI 8・9月号

令和4年8月1日発行
第49巻第6号（通巻733号）

発行 法政大学 総長室 広報課
〒102-8160
東京都千代田区富士見2-17-1
TEL.03-3264-9240

協力 法政大学後援会

企画・制作協力 (株)日経BPコンサルティング

印刷所 図書印刷(株)



法政大学生生活協同組合書籍部より

<市ヶ谷キャンパス>

就活関連書籍は割引フェア時の購入がお勧め

市ヶ谷購買書籍部では、勉学・研究活動に必要な教科書や専門書だけでなく、就職活動に臨む際に参考となる就活書も多く取り揃えています。

就活書は割引フェアを開催していることも多く、組合員証のご提示で15%引き、20%引きなどの割引価格で購入できます。通常、組合員割引は10%引きですので、フェア期間はさらにお得に購入可能です。

他にも、生協の書籍部はさまざまなジャンルの本を取り揃えています。店頭在庫がないものでも、お取り寄せが可能ですので、在学中はぜひ、生協の書籍部をご利用ください。（市ヶ谷購買書籍部）



付 属 校 短 信



法政大学中学高等学校

より丁寧な指導の実現を目指して

中学1年生の道徳およびLHR（ロングホームルーム）の時間に「中学生をスタートしたあなたにお伝えしたいこと」と題し、「中学生とはどのような時期なのか」「仲間とより良い学校生活を送るための『2つのこと』」について、発達心理学の視点で講話を行いました。

この講話は、今年度に試行している心理教育プログラムの検討・実施の一環で、全生徒を対象に、開発的（問題解決力を育

む）、予防的（一次支援）な視点を持って実施する取り組みになります。青年期や思春期の特徴や獲得課題について理解を深め、より良い学校生活を送るために「相手の人権尊重を図ること」について学びました。生徒からは「話を聞いて、今の自分を認めることができた」などのコメントが寄せられました。

今年度は、それぞれの生徒の多様性を認めながら、全体にとってよりの確で教



育的な指導を実施できるよう、教育支援体制の充実に取り組んでいます。学年ごとに全体に対する指導を工夫し、どの生徒にとってもより適切な対応ができることを目指しています。



法政大学第二中・高等学校

中学1年校外授業～3年ぶりの実施

2022年度がスタートしました。新年度早々の4月19日（火）から21日（木）にかけての3日間、中学1年の宿泊行事である校外授業が、3年ぶりに山中湖で実施されました。

校外授業の指導方針は、「基本的生活習慣や社会性の基礎の確立」「豊かな人間関係や『良い集団づくり』」「学習活動に対する姿勢の確立」の3点です。

各クラスの担任はこれらの指導方針を

踏まえつつ、独自性のある授業やHR（ホームルーム）などを展開し、「二中生としての基本の確立」を目指しました。

今回の校外授業で、最も重視した指導に「感染対策の徹底」があります。

さまざまな局面でのディスタンスの確保、マスク着用、「黙食」の指導と健康チェックの徹底など、生徒の健康・安全を第一に考えた上で指導を展開した結果、発熱者を出すことなく、成功裏に終える



ことができました。

今回の校外授業が、中学1年生にとって「中→高→大」と続く、今後の学校生活をより充実したものにする契機となることを期待しています。



法政大学国際高等学校

次のステージに進む法政国際の学び

国際高校ではコロナ禍でも「主体的に学び、考え、行動し、多様な他者となつながら21世紀の地球市民の育成」を進めています。

2022年3月には「国際教育プログラム成果発表会」を開催しました。文部科学省指定のスーパーグローバルハイスクールでの成果を発展させた独自の教育プログラムによる発表会となりました。

またIB（インターナショナル・バカロ

レア）コース2回目の卒業生はディプロマ最終試験に全員が合格し、それぞれ目指す進路に進みました。

4月のオリエンテーションでは、留学生が来校しての国際交流プログラム、ICT（情報通信技術）、生徒会活動、留学に関するガイダンスの他、特に生徒の学ぶ姿勢を喚起する学習ガイダンスを強化しました。

新1年生からの新カリキュラムでは、論理的・批判的思考力の獲得を目指す科目



「Critical thinking」、世界を理解し社会課題に挑む、科目横断の講座「地球市民」を設置しました。各自が課題テーマを設定し、卒業研究・制作を進めています。今後も学びの充実を図っていきます。

